

## 平成 19 年度 第 1 回評議員会議事録

期 日 平成 19 年 4 月 22 日 ( 日 ) 13:00 ~ 15:00  
場 所 KKR 札幌  
出席数 評議員 46 名の内、出席 24 名、欠席 22 名 ( 委任状 17 名提出 )  
議 事

### 1 . 平成 18 年度事業報告について

#### < 各委員会の活動状況 >

- ・ 各委員会の委員長から「平成 18 年度 事業報告書並びに決算報告書」資料に基づき、各委員会の活動報告があった。

( 詳細については、「北海道協会 HP ¥ 協会からのご案内 ¥ 事業報告書」に掲載 )

#### < 試合並びに大会経過 >

- ・ 庶務担当理事から「平成 18 年度 事業報告書並びに決算報告書」資料に基づき、第 61 回国体北海道選手団、平成 18 年度優秀選手、試合並びに大会経過などについて説明があった。

( 詳細については、「北海道協会 HP ¥ 協会からのご案内 ¥ 事業報告書」に掲載 )

### 2 . 平成 18 年度決算報告について

- ・ 会計担当理事から「平成 18 年度 事業報告書並びに決算報告書」資料に基づき、平成 18 年度収支報告について説明があった。
- ・ 収入については、チーム数減少により、登録料が最多の平成 12 年度に比べて 10% 減少となり、登録料及び北海道選手権大会参加料を合わせて予算より約 40 万円下回った。
- ・ 有料試合の収支決算書について説明があった。収支決算はマイナスとなった。要因としては、従前からあった関東協会補助金としての横幕広告料が受けられなくなったことが、平成 18 年度の有料試合開催を決定した後に通知を受けたことにより、収入減少とそれに対して十分な対策が取れなかったことが説明された。
- ・ 会計監事から、会計監査報告あり会計処理が適性に行われていることが報告され、平成 18 年度収支決算書が承認された。

( 詳細については、「北海道協会 HP ¥ 協会からのご案内 ¥ 決算報告書」に掲載 )

### 3 . 役員改選について

- ・ 理事長から、会長・副会長及び理事長指名理事の改選についての発表があった。会長・副会長の再任、新理事として橋本定彦氏・津軽敦志氏の新任、吉岡亨氏の退任が示され了承された。

### 4 . 平成 19 年度事業計画について

- ・ 庶務担当理事から、各種大会及び講習会・研修会などの事業計画について説明があった。

( 詳細については、「北海道協会 HP ¥ 年間スケジュール ( 事業計画 )」に掲載 )

### 5 . 平成 19 年度事業予算について

- ・ 会計担当理事から、平成 19 年度収支予算書について説明があった。
- ・ 予算については、各委員会から出された要求に対して事業を運営する最低限の査定

を行ったが約 40 万円の赤字予算となったことが報告された。また、関東協会借入金  
の残額 320 万円を返済すると、80 万円が得られるため、完済までの 4 年間は緊縮  
財政の執行となることが示された。

- ・ 旭川支部評議員から、平成 18 年度決算の赤字についてはやむをえないと思うが、  
平成 19 年度の赤字予算についてはまずい。旭川では高校・大学が 1 校ずつ減って  
おり、他についても同じような状況であることが考えられマイナス要因がある。予  
算上はゼロとしたほうが良いとの意見があった。
- ・ 理事長から、緊縮財政下であっても、縮小均衡に陥って選手のヤル気や組織活力が  
失われないようにする必要があり、財政強化の対策として北海道協会でも財務委員  
会などでの検討により改善して行くとともに、各委員会においても予算の 10% を  
余すような運営の要請をする方針であることが示され、予算について承認された。

## 6 . その他

### < 評議員及び評議会のあり方について >

- ・ 旭川支部評議員から、北海道協会では評議員の一部が理事を兼ねていることが一般  
の団体と馴染まないとともに、提案者と評議者が同じなのはおかしいことから是正  
した方が良いとの意見があった。
- ・ 理事から、評議員が理事を兼ねている団体の実例が紹介され、一般の団体にも少な  
からず存在するとの意見があった。また、理事を兼ねている評議員は裁決に影響を  
及ぼさない範囲であり評議会の支障とはならず問題とはならないのではないかと  
の意見があった。
- ・ 評議員の一部が理事を兼ねていることに関する是非については、理事会で検討を行  
い、次の評議会で結果を報告することになった。
- ・ 函館支部評議員から、評議員及び理事の配列を工夫するなど、評議会の運営方法の  
検討を行ってほしいとの意見があり、理事会で検討を行い、次の評議会で結果を報  
告することになった。

### < 財務向上に関して >

- ・ 北見支部評議員から、ラグビーの活性化、プレイヤーの増加及び財務向上にとって、  
ラグビー試合をテレビで放送することが大いに有効であると考えられることから、  
テレビ放送の手段を、日本協会・関東協会を含めて考えてほしいとの要請があった。
- ・ 北見支部評議員から、苦しい財務状況の中で、評議員会を書面で行うことが、旅費  
の節減となることから検討してほしいとの意見があった。
- ・ 理事長から、現役員体制設立時の方針として、評議員会を重要と考えた。評議員の  
出席率が上がれば協会活動も活発になる。各支部においても、改めて参加を促した  
いとの方針が示された。
- ・ 庶務担当理事から、財務強化対策の一環として北海道協会からポロシャツの販売を  
行うことが報告された。販売するポロシャツの見本が示され、サイズ・カラー及び  
値段については今後詰めていくことが説明された。
- ・ 札幌支部評議員から、ターゲットを考え、デザイン・カラーなどを吟味し売れるも  
のを作ることが重要であるとの意見があった。